

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-511032(P2001-511032A)

【公表日】平成 13 年 8 月 7 日 (2001.8.7)

【出願番号】特願平 10-532220

【国際特許分類】

A 6 1 F 5/08 (2006.01)

A 6 1 M 16/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 5/08

A 6 1 M 16/06 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 26 日 (2005.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年 1月26日

特許庁長官 殿



1 事件の表示

平成10年特許願第532220号

2 補正をする者

氏 名 クロンク, ピーター ジェイ

氏 名 クロンク, クリステン

3 代 理 人

識別番号 ~~100062993~~

住 所 兵庫県神戸市中央区76番地2

入江ビル9階 欧和特許事務所

6299 氏 名 弁理士 田 中 浩



4 復代理人

識別番号 ~~100105360~~

住 所 兵庫県神戸市中央区76番地2

入江ビル9階 欧和特許事務所

電話 078-391-3915 FAX 078-391-3917

A536 氏 名 弁理士 川 上 光 治



5 補正対象書類名

明請求の範囲



6 補正対象項目名

請求の範囲

7 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙の通りに補正する。

添付書類

請求の範囲

以上

請求の範囲

1. 呼吸中に鼻の鼻腔壁組織が収縮することを実質的に防止する外装型鼻腔拡張器（100）であって、

上面と底面とを有する細長い可撓性の弾性部材と、

上記弾性部材の上記底面上に設けられた感圧接着剤層（32）と、

を有し、

上記弾性部材は、上記拡張器（100）が上記感圧接着剤層によって上記鼻に接着して取り付けられた時、上記鼻腔壁組織に対して緩やかな伸長力を与えるものであり、

さらに、上記拡張器上に配置された、芳香性または経皮物質（50）、または芳香性および経皮物質を有することを特徴とする、外装型鼻腔拡張器。

2. 上記弾性部材が、リボン、繊維、編み組み層、スクリム、合成材、シート層、またはこれらの組合せを含むことを特徴とする、請求項1に記載の鼻腔拡張器。

3. 上記芳香性薬剤が、樟脳、ユーカリ油、ハッカ油、メントール、サリチル酸メチル、酢酸ボルニル、ラベンダー油、またはこれらの組合せの中の1つまたはそれ以上を含むことを特徴とする、請求項1に記載の鼻腔拡張器。

4. 上記芳香性または経皮物質が、抗ヒスタミン剤または充血緩和剤を含むことを特徴とする、請求項1に記載の鼻腔拡張器。

5. 上記弾性部材が、繊維質吸収層部分を有することを特徴とする、請求項1に記載の鼻腔拡張器。

6. 上記芳香性または経皮物質が上記接着剤層中に混合されていることを特徴とする、請求項1乃至5のいずれか1つに記載の鼻腔拡張器。

7. 上記芳香性または経皮物質が体温により加熱されると実質的に活性化されることを特徴とする、請求項1に記載の方法。

8. 一对の長手方向に延びる側部と、これと交差する一对の端部と、上面と底面とを有し、上記底面上に配置された感圧接着剤層（32）を含む細長い可撓性の基板（30）を患者の外部鼻腔壁組織に接着適用することにより患者が呼吸を容易にできるようにする方法であって、

上記患者の呼吸を容易にするために、上記基板（30）上に芳香性または経皮物質（50）を設けることを特徴とする、患者が呼吸を容易にできるようにする方法。

9. 上記物質が、上記基板の吸収性部分、分散型経皮パッチ調合剤、ゲルをベースとしたマトリックス、または律速膜内に配置されていることを特徴とする、請求項8に記載の方法。

10. 上記物質が、抗ヒスタミン剤、充血緩和剤または芳香性薬剤を含むことを特徴とする請求項8に記載の方法。